

大好き いばらき



取手生活学校の皆さんの協力による、牛乳パックを利用したブーメランとキャンディーボックス作り。
(泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル会場にて)

目次

「大好き いばらき 県民会議」事業内容2・3

特集 『大好き いばらき エコライフ運動』...4~6
“エコライフ”実践報告

・取手市立六郷小学校6

・いばらきコープ生活協同組合6

ネットワーク活動紹介

・桜川市ネットワーク協議会7

大好き いばらき 県民運動 活動紹介7

INFORMATION8

大好き いばらき 県民運動

各地域で行われている青少年の健全育成・福祉・生活環境など、さまざまな分野での活動を、県民や団体、企業、行政が手をつないで支えあい、やさしさとふれあいのある茨城を創っていく運動、それが「大好き いばらき 県民運動」です。

「大好き いばらき 県民会議」 事業内容

平成19年度第14回大好き いばらき 県民会議総会を5月29日(火)

県三の丸庁舎大講座室において開催しました。

総会では、平成18年度歳入・歳出決算報告並びに、平成19年度事業計画について
審議され、承認されました。

平成18年度 事業報告

ご近所の底力再生事業等による「地域コミュニティの再生・活性化」に重点的に取り組むとともに、「福祉・人づくり」「生活環境づくり」「茨城の風土づくり」の運動についても、県や関係団体との連携を強化しながら、大好き いばらき 県民運動の根幹である「ネットワーク(県民運動地域推進員)」の機能を最大限に活用し、地域社会において多様な運動主体が様々な活動を展開する『県民が主役のいばらきづくり』の

推進を図りました。また、地域活動の一翼を担っているNPO活動についても、セミナーや相談等を行い、活動を支援するとともに、団体、企業、行政との連携・協働を推進しました。



大好き いばらき 夢のある家庭や子育てができる社会を築く「シンポジウム」
(平成19年3月10日(土) 県立図書館)



第34回花と緑の環境美化コンクール(県立真壁高等学校)



大好き いばらき エコライフ運動推進大会
(平成19年3月19日(月) 県民文化センター)



まなびピアいばらき2006への参加
(平成18年10月5日(木)~9日(月) 笠松運動公園)

平成19年度 事業計画

ご近所の底力活性化推進事業等により、引き続き「地域コミュニティの活性化」に重点的に取り組むとともに、県や関係団体との連携を強化しながら「福祉・人づくり」、「生活環境づくり」、「茨城の風土づくり」の運動を展開してまいります。

【福祉・人づくり】

- *第18回大好き いばらき 作文コンクールの実施
- *少子化対策関連施策の推進
(子育てシンポジウムの開催)

【生活環境づくり】

- *大好き いばらき エコライフ運動の推進
- *大好き いばらき 花いっぱい運動の推進
- *交通安全県民運動の推進
- *水質浄化県民運動の支援

【茨城の風土づくり】

- *大好き いばらき ふれあいまつりの開催
- *ねんりんピック茨城2007への参加
- *大好き いばらき 方言大会の開催

【地域ネットづくり】

- *ネットワーカーの活動促進
- *ネットワーカー活動推進大会の開催
- *ネットワーカー等連絡協議会の設立促進・活動促進

【NPO活動の促進】

- *NPO運営セミナーの開催
- *自治体職員研修の開催
- *NPOフォーラムの開催

【県民運動の普及・推進】

- *広報誌「大好き いばらき」の発行
- *ホームページの充実
- *会員の拡大

【交流サルーンいばらきの管理運営】

- *交流サルーンいばらきニュースの発行
- *会議室、印刷機器等各種機器の提供

平成18年度 歳入・歳出決算報告

歳入の部(平成18年度決算)

単位:円

項目	決算額
1 会費	2,731,685
2 補助金	35,737,000
3 委託金	24,552,000
4 共催金	2,300,000
5 諸収入	348,294
6 繰越金	3,564,179
計	69,233,158

歳出の部(平成18年度決算)

単位:円

項目	決算額
1 県民運動推進事業費	29,953,699
2 県民運動地域推進員事業費	2,090,741
3 生活学校運動推進事業費	281,780
4 生活会議運動推進事業費	145,365
5 普及啓発事業費	6,448,940
6 市町村県民運動推進事業費	602,415
7 NPO等連携協働促進事業費	2,120,791
8 交流サルーン管理運営費	7,250,000
9 運営費	18,513,781
10 予備費	0
計	67,407,512

差引残高は、平成19年度に繰越し。

平成19年度 歳入・歳出予算

歳入の部(平成19年度予算)

単位:千円

項目	予算額
1 会費	3,012
2 補助金	32,619
3 委託金	15,774
4 共催金	2,300
5 諸収入	200
6 繰越金	1,825
計	55,730

歳出の部(平成19年度予算)

単位:千円

項目	予算額
1 県民運動推進事業費	20,080
2 県民運動地域推進員事業費	3,075
3 生活学校運動推進事業費	400
4 生活会議運動推進事業費	400
5 普及啓発事業費	6,550
6 市町村県民運動推進事業費	500
7 NPO等連携協働促進事業費	2,000
8 交流サルーン管理運営費	6,710
9 運営費	15,015
10 予備費	1,000
計	55,730

「大好き いばらき エコライフ運動」

平成18年度からスタートした、「大好き いばらき エコライフ運動」に多くの方に賛同していただいております。
～参加・登録団体・グループ数:547(平成19年7月1日現在)～

一昔前は冬にたくさん雪が降ったのに、ここ数年はあまり降らない、夏の気温上昇が尋常でない、桜の開花時期が早くなっている等々、近年、身近に感じる環境が変化しています。

地球規模でみると、地球温暖化、オゾン層の破壊、熱帯林の減少、生物多様性の低下など、環境問題は年々

深刻な状況になっています。

次の世代の子どもたちに、豊かな地球環境を引き継いでいくためには、今を生きている私たち一人ひとりが自らの生活を見直し、できることから少しずつ、環境に優しい生活(エコライフ)に変えていくことが大切です。

Point 1

環境問題の主な原因

大量生産・大量廃棄型の社会経済

私たちは、大量生産・大量廃棄といった社会経済システムを背景に、快適で便利な生活を送ってきました。しかし、そのようなシステムがもたらす環境への負荷は自然の持つ再生能力を超え、大気汚染や水質汚濁といった地域レベルから地球温暖化などの地球規模にまで、様々な環境問題を引き起こしています。

また、私たちの日常生活においても、電気やガスの浪費や多量のゴミの排出、自家用車の排気ガスに含まれる汚染物質の放出、生活用水の河川等への放出などは、環境問題の大きな原因になっています。

Point 2

将来のために、 私たちにできることは・・・

省エネ・省資源を心がけましょう!

- ・エネルギーや水などの資源を浪費せずに、有効に活用しましょう。
- ・自動車の利用を控え、公共交通機関や自転車を利用しましょう。
- ・電化製品を買い換えるときは、省エネルギー機器を選びましょう。

3R(リデュース・リユース・リサイクル)を心がけましょう!

- ・ゴミの発生を抑制(Reduce)しましょう。
- ・不要となったものは再利用(Reuse)しましょう。
- ・再利用できないものは再生利用(Recycle)しましょう。

大好き いばらき エコライフ運動

大好き いばらき 県民会議では、「もったいない」の気持ちを大切にしながら、県民一人ひとりが毎日の生活の中で、環境を大切にするという気持ちをもって行動し、その輪が県内全域に広がるよう、昨年に引き続き、「大好き いばらき エコライフ運動」を推進しております。

仲間を誘って、「エコ」な生活を楽しんでみませんか。

エコライフ運動への参加・登録

登録シートに必要な事項を記入して、大好き いばらき 県民会議に送って下さい。

いつでも、どんなグループでも登録できます。

登録・年会費は無料です。

登録すると、

- ・登録証を発行します。
 - ・エコライフに取り組むヒントがたくさん入った「エコ・チェックシート」等をお送りします。
 - ・活動の内容や成果をお送り下さい。素敵なプレゼントを用意しております。
- また、お送りいただいた内容は、ホームページや広報誌などで活動事例として紹介させていただきます。



トライ1 “エコチェック”!

省エネ、省資源、ゴミの減量などの環境に配慮した取り組みが、毎日の生活の中でどの程度行われているのか、エコ・チェックシートを使って、あなたのエコライフ度を診断してみましょう。

みんなで取り組みれば必ず大きな効果が期待できます。よりよい地球のために、ご近所や職場の仲間などに勧めてみませんか。



トライ3 スリーアール 3Rの実践



リデュース
ゴミの発生を抑制する(Reduce)

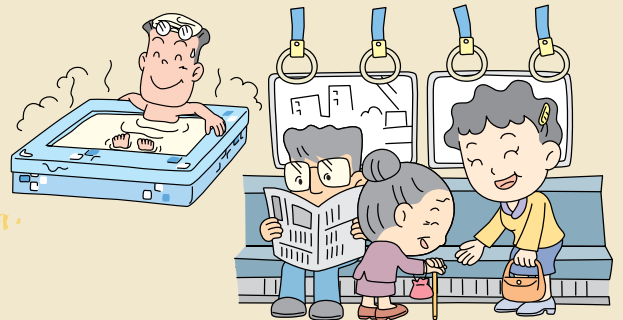
・買い物は、買い物袋やかごを持参する。食料品は必要なだけ買う。詰め替え商品など廃棄割合の少ない製品を選ぶ。古着を子ども服にリフォームする 等。

リユース
不要になったものを再利用する(Reuse)

・いらなくなった紙はメモ用紙に利用。いらなくなった物はバザーやフリーマーケットへ提供する 等。

リサイクル
再利用できないものは再生利用する(Recycle)

・空き缶、空きびん、牛乳パックなどは資源回収に出す。ゴミの分別ルールに従う。古新聞、段ボールなどの古紙は、束ねて資源回収などに出す。生ゴミは処理機などを利用して堆肥として利用する 等。



トライ2 省エネ、省資源

- 身近にできる省エネ・省資源の例 -

冷房機器は室温28、暖房機器は室温20を目安に調節する。

電気製品を長時間使わない時には、コンセントからプラグを抜く。

シャワーのお湯は流しっぱなしにせず、お風呂は間隔をおかずに入るようにする。

車の運転の際には経済速度を心がけ、急発進、急加速はしない。

外出時は、できるだけ車に乗らず、電車・バスなどの公共交通機関を利用する。

ひとくちメモ～環境問題豆知識～

・冷房の設定を27 から28 にする	▶ 年間削減額	700円
・暖房の設定を21 から20 にする	▶ 年間削減額	1,200円
・白熱球を電球型蛍光灯に変える	▶ 年間削減額	1,800円
・電気ポットは長時間使わないときには、コンセントを抜く	▶ 年間削減額	2,400円
・シャワーはお湯を流しっぱなしにしないように気をつける。(1日1分短縮)	▶ 年間削減額	2,400円
・経済速度を心がけ、急加速・急発進をしないように気をつける。	▶ 年間削減額	3,200円

“エコライフ” 実践報告

エコライフの実践報告の第一弾として、「大好き いばらき エコライフ運動」に登録していただいた学校・企業から2つの事例を紹介いたします。また今後も、エコライフを実践している団体を、大好き いばらき 県民会議の広報誌やホームページなどで紹介させていただきますので、みなさんの実践報告をお寄せ下さい。

親から子へ伝える「エコ」の心

～取手市立六郷小学校・緑化環境委員会～

取手市立六郷小学校では、4年前からアルミ缶や古新聞などのリサイクル活動を行っています。元々はPTAが始めた活動でしたが、親たちの姿を見た子どもたちが、徐々に率先して作業を手伝うようになり、今では子どもたちが主体となって活動を行っています。



緑化環境委員の子どもたち

主な活動は「緑化環境委員会」のメンバーが中心となり、校内に自作作成した資源ゴミ回収ポスターを掲示したり、回収日前日の月・木曜には、回収に関する校内放送を実施したりして、リサイクルの大切さや活動への参加を呼びかけています。回収は毎週火・金曜の朝。全校児童が各家庭から持ち寄ったアルミ缶や古新聞などを、委員の子どもたちが当番制で、分別作業を行っています。この活動が学校新聞などで紹介されたことで、各家庭での活動への参加意識が高まり、地域の住民や資源ゴミが多く出る企業に声をかけ、今では学校関係者以外の世帯や企業からも協力を得て、回収量も増加しています。資源回収により得た収益金は、CDラジカセや電動鉛筆削り器、加湿器といった学校備品の購入資金にあてられ、活用されています。

活動を通して『ゴミを簡単に捨てられなくなった』『物を大切に扱うようになった』など、子どもたちにはゴミ削減やリサイクルの大切さの意識が高まっています。「小学校を卒業しても活動は続けたい」と語る子どもたち。彼らの目にはきっと、今より美しい地球の姿が浮かんでいるに違いありません。



資源ゴミを持って登校



回収されたアルミ缶

企業と家庭、双方が行えるエコ

～いばらきコープ生活協同組合～

いばらきコープでは「環境への取り組みは一団体だけでなく全体のもの」という考えから、社内外へむけて幅広い活動を行っています。そして企業側と消費者(組合員)側、それぞれの立場にはたらきかけ、人々の環境配慮への意識を広げるきっかけとなっています。

コープ各店舗で継続されている代表的な取り組みは「レジ袋削減のための「環境募金」レジ袋削減です。各店ともレジでの袋配布を廃止した代わりに、レジ袋が必要な人に対しては、サッカー台脇に設置した募金箱に、環境配慮への協力として、レジ袋1枚につき5円を目安に募金を促すシステムを採用しています。



食品トレーや牛乳パック、ペットボトル等の回収も盛んで、回収BOXには先月の回収数を表示、レジ袋に関しても先月の削減枚数が明確に表示され、利用者の意識を一層高めています。また環境募金やリサイクルで得たお金は、すべていばらきコープ生活協同組合の環境基金に繰り入れられ、各地で環境活動を行う団体や個人への、資金的な援助に使用されています。

現在は約25万人のコープ組合員を通して、各家庭レベルで行う「エコカレンダー・チャレンジ」を実施しています。「冷蔵庫の詰め込み過ぎをやめる」など、日常で行えるエコ活動を1ヶ月単位で目標を決めて、実行できたらチェックシートに印をつけるというもので、大人も子どもも自分自身の活動が環境保全に直結するという意識につながります。今後も看板を消灯させる「ブラックイリミネーション」や家庭で出来る「電気ダイエットコンクール」などを予定しており、より多くの人たちがエコロジーに関わる機会が増えそうです。



エコカレンダーチャレンジ

ネットワーカー活動紹介

桜川市ネットワーカー協議会

設立:平成19年6月16日
会長:井上 民男
会員数:49名

6月16日(土)「桜川市ネットワーカー協議会設立総会」が開催されました。

岩瀬、真壁、大和の旧三町村出身のネットワーカーの方々が参加し、総会の最後には、大好き いばらき 県民運動の理念である、共生・共創・共援について全員で唱和し、協議会が設立されました。

ネットワーカーの皆さんは、これまでも地域づくりの



ため様々な活動を行ってきましたが、今後は協議会を通じて交流・協力を進め、住みよい地域づくり、住みよい茨城づくりに向けて、より一層、大好き いばらき 県民運動を推進していきます。

また、設立総会終了後、ホームページ「茨城王(イバラキング)」

を運営されている青木智也氏による講演『いばらぎじゃなくていばらき』が催されました。茨城独自の良さについて、方言を中心にユーモアを交えて話され、会場には笑いととも「あ～、確かに使うなあ」「そういう言葉もあるのか」などの声があり、参加者の皆さんは楽しみながら、普段あまり意識しない、自分たちが使っている言葉を通して、茨城の良さを再確認されていました。



第8回

大好き いばらき ふれあいまつり

4月7日(土)
県三の丸庁舎(水戸市)

第8回大好き いばらき ふれあいまつりが、4月7日(土)満開の桜のもと、県三の丸庁舎(水戸市)を会場に、約3万人の来場者を迎えて盛大に開催されました。

水戸市立三の丸小学校吹奏楽部や県立水戸工業高校ジャズバンド部などのステージ発表、商店街ふれあいスタンプラリー、ねんりんピック茨城2007開催記念事業の歴史探訪ふれあいウォーキングにも多くの方々が参加されました。

また、今回はじめてリユース食器を使用しゴミ削減に努め、環境に配慮したまつりに好評を得ました。



平成19年度

大好き いばらき 県民会議総会

5月29日(火)
県三の丸庁舎(水戸市)



平成19年度大好き いばらき 県民会議総会が、5月29日(火)に、茨城県三の丸庁舎大講座室において開催され、今年度の事業計画などが承認されました。(事業計画等詳しくは2・3ページをご覧ください。)

また、会長の橋本知事からは、自分たちの地域は自分たちがつくるという地域コミュニティが今後ますます重要となってくることから、引き続き今年度も「ご近所の底力活性化推進事業」などを実施していくとのあいさつがありました。

第12回

泳げる霞ヶ浦 フェスティバル

7月16日(月)
霞ヶ浦総合公園(土浦市)

7月16日(月)の海の日、土浦市大岩田の国民宿舎「水郷」前広場において、取手生活学校のみなさんと一緒に「大好き いばらき エコライフ運動キャンペーン」を行いました。

台風一過の会場にはたくさんの方々が訪れ、大好き いばらきのテントでは、約500名の方々が「エコ・チェックアンケート」等を行い、それぞれのエコライフ度を診断しました。





大好き いばらき 県民運動 これからの活動

次号(36号)は、11月末に発行する予定です。
それまでの大好き いばらき 県民運動の行事等をお知らせします。

月 日	事 業 名	会 場
8月25日(土)	霞ヶ浦環境科学センター夏まつり2007	霞ヶ浦環境科学センター(土浦市)
11月 1日(木)	「いばらき教育の日」推進大会	県民文化センター(水戸市)
11月10日(土)~13日(火)	第20回全国健康福祉祭いばらき大会 「ねんりんピック茨城2007」	笠松運動公園(ひたちなか市) ひたちなか市総合運動公園 ほか
11月17日(土)	花いっぱい運動の集い	茨城県フラワーパーク(石岡市)

I N F O R M A T I O N

平成19年度 花いっぱい運動 定着化促進事業

- ・支援内容 / 1団体・学校あたり5万円以内
- ・対象経費 / 花いっぱい運動を継続的に進めていくために必要な経費(花壇の造成費用、道具や花の苗などの購入費用)
- ・応募資格 / 花いっぱい運動に継続して取り組む意欲のある茨城県内の各種団体・学校
- ・申込締切 / 平成19年9月14日(金)
- ・応募方法 / 応募用紙(市町村の花いっぱい運動の担当課窓口または大好き いばらき 県民会議のホームページからダウンロード)に、活動時や花壇の写真(平成18年度もしくは平成19年度:3~5枚)を添えて、市町村の花いっぱい運動の担当課、または直接、大好き いばらき 県民会議まで提出。

プレ国民文化祭・いばらき2008

第18回 大好き いばらき 作文コンクール実施要項

- ・募集内容 / テーマ:「わたしが発見!いばらきの文化」
- ・対 象 / 茨城県内に居住する小学生・中学生・高校生
- ・字 数 / 【小学校低学年】
400字詰め原稿用紙2枚以内
【小学校高学年、中学生】
400字詰め原稿用紙2枚以上、3枚以内
【高校生】
400字詰め原稿用紙4枚以上、5枚以内
- ・応募方法 / 通学している小学校・中学校及び高等学校へ提出
- ・応募締切 / 平成19年9月10日(月)(当日消印有効)

【サブテーマ】

- ・わたしのまちのおまつり
- ・わたしと童謡
- ・わたしが見つけた茨城の文化
- ・わたしが好きな茨城の民話(童謡・方言)
- ・我が家に伝わる言い伝え
- ・私のふるさと自慢
- ・繋いでいく伝統(文化)の絆



常世の国こくぶん祭
マスコットキャラクター
ハッスル黄門

投稿記事を募集しています!

広報誌「大好き いばらき」では、皆さまからの投稿記事を募集しています。
地域で行われている活動をPRしてみませんか?詳しくは、ホームページまたはお電話で!



大好き いばらき 県民会議

〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2F
TEL029-224-8120 FAX029-233-0030
URL <http://business2.plala.or.jp/daisuki/>
E-mail daisuki@atlas.plala.or.jp



グリーンマーク
自然環境保護のため
再生紙を使用しています。



PRINTED WITH
SOY INK
大豆油インキ
揮発性VOCの発生が少しい
大豆油インキを使用しています。